

## 事例発表団体の概要

No	団体名(発表順)	団体区分	市町村	取組のタイトル	取組の概要
1	若松秋桜会	民間団体	北九州市	輝く未来は今、ここから私から	・小学校の総合学習の授業を担当し、3Rの話、地球温暖化の問題などについて子供達とキャッチボール式に話し合うことで理解を深める。今年で6年目の取り組み、毎年9月に12校～13校に出向いている。また、年間通して各地域の市民センターでの講座を実施。 ・マイバック運動の推進やフリーマーケットの開催、環境家計簿の普及、植林活動など幅広い取組を行っている。
2	(株)プラテックノマテリアル	企業	田川郡福智町	ペットボトルキャップのマテリアルリサイクル	ペットボトルのキャップを集めミニプラントを製作するマテリアルリサイクルを促進し、CO <sub>2</sub> の発生を抑制。製品の売却益を途上国へのワクチン寄贈団体に寄付。製品の一部はキャップ提供者(学校、会社、労働組合、個人)などに提供。北部九州では、エコキャップ推進協会に参加している唯一の会社。
3	トータルケア・システム株式会社	企業	福岡市	紙おむつリサイクルシステム	紙おむつリサイクルによるCO <sub>2</sub> 削減 焼却処理を当然のこととしてきた紙おむつを水溶化しパルプ、プラスチック、ポリマー、汚泥等、素材別に分離、回収する新たな処理技術を確立。平成19年度実績では、処理量4,328 <sup>t</sup> から、パルプ843 <sup>t</sup> 、プラスチック282 <sup>t</sup> 、汚泥145 <sup>t</sup> を回収し建築資材、固形燃料、土壌改良材等に再利用する。
4	株式会社 福商運輸	企業	大野城市	地域社会に必要とされる会社を目指して!	・エコアクション21取得による省エネ活動(エコドライブ、社内分別、事務所の温度管理、社内教育の実施等) ・抜本的な業務の見直し(顧客毎でなく混載する、単品の場合の外部発注) ・社員全員エコファミリーに登録 ・本年度以降の計画①エコドライブ装置の購入・設置、②走った分(二酸化炭素を出した分)植林する計画で本年度は適地を調査。
5	福岡県立宗像高校 家庭クラブ	学校	宗像市	崇高、エコスクール大作戦	環境に関するポスターを掲示し、節電、分別回収、割り箸回収、レジ袋のReduce活動を促す。 12月には地元農家「みそ汁キャラバン隊」の方を講師に迎え、地産地消をテーマに地元の食材を使った料理講習会を行い、フードマイレージについて学習。 一年を通し、全校で使われる割り箸を毎日回収し、洗浄・乾燥させ貯まったら市役所を通じ製紙業者へ送り、古紙の原料にする。 校舎は環境型校舎として太陽光発電設備や透水性アスファルトといった設備を備えている。
6	福岡県立遠賀高等学校	学校	遠賀郡遠賀町	環境保全への取り組み	・農道、農業用排水路の整備:平成18年度から、環境に優しい農業地域の実現のため、グリーンサイエンス科の生徒が、農道・農業用排水路の整備等を地域農家、住民と連携して推進し、環境保全を図っている。 ・おんがの森:平成19年度に校有地に"おんがの森"を整備し、平成20年度サクラ200本を植栽。現在育成活動を継続中。 ・ピオトープ作り:平成20年度からピオトープ作りを行う。科学技術振興機構SPP事務局の理数支援部連携学習支援課よりSPP事業(サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト事業)に採択され、福岡教育大学の指導助言を受け、取り組んでいる。
7	福岡県立柏陵高校	学校	福岡市	節電意識の啓発から始まる学校活性化	「節電意識の啓発から始まる学校活性化」～柏陵高等学校エコスクール構想の取り組み～ ・平成19年度から節電方策のアイデアを職員や生徒から募り、実行。 ・平成19、20年度ともに電気使用量6%節減に成功したので、その証として生徒用の椅子200脚を購入し、学習環境を改善。
8	福岡雙葉中学校	学校	福岡市	地域社会の一員であることを自覚し、行動する生徒を育てよう	「地球社会の一員としてできることから始めよう」を学校目標の1つに挙げ、積極的に減CO <sub>2</sub> に取り組む。実習中にも常に環境の視点を持ち、家庭で生かせることを考え、実習中ほとんどゴミを出さず、木工の実習の木くずは集めて調理実習の生ゴミを入れるダンボールコンポストの基材にし、それらで作られた肥料を緑のカーテンに使っている。 生徒も前向きに環境への取り組みをし、平成18年、19年には福岡市の環境にeことコンテストに入賞。教員もまず指導の前に一番の実践者と考え取り組み、平成19年エコファミリー優秀賞、19年環境にeことコンテスト、20年九州エコバックコンテスト最優秀賞を受賞。
9	株式会社 黒木	企業	福岡市	既存建築物を省エネ型建築物へ「エコ・ストック200」	2020年度までに2005年比でCO <sub>2</sub> マイナス15%を目標とし、建物の長寿命化と室内改善をテーマに建物の改修、補修、リニューアル等に取り組む。 ・既存の建物の省エネ化とヒートアイランド対策 ・住む人・働く人への室内環境対策と省エネ化
10	5校区スーパー4店舗 レジ袋削減作戦チーム会	企業 地域協同	福岡市 前原市	5校区スーパー4店舗レジ袋削減作戦!	地域のスーパー4店舗と5校区の環境活動連絡会議を中心に地域の店舗と住民が協同してマイバック持参とレジ袋削減の取組を実施。マイバック持参率(4店舗平均)は、取組開始前の46%から56%へと10%も上昇しました。 この取組を進めるために主に下記の活動を行なった。 ・ポスター等によるマイバック持参呼びかけはもとより、使っていないバックを活用し、協力店舗であれば、どの店で借りても、またどの店で返せる地域共通の貸し出しエコバッグの仕組み作り。
11	西日本旅客鉄道(株)新幹線管理本部博多総合車両所 エコ新幹線	企業	筑紫郡那珂川町	博多総合車両所における地球環境保護の取組み	・省エネ推進、省資源、リサイクル推進、緑化推進、汚染物質削減、廃棄物削減の5専門部会を立ち上げる。 〈取組み開始年(1997年)比で大幅な削減率の推移〉 ・電力 ▲28.6%、上水 ▲81.4%、灯油 ▲46.6%、CO <sub>2</sub> ▲31.2%、産業廃棄物 ▲95.4% ・リユース、リサイクルの実施により、リサイクル率96.3%(メンテナンス職場としては画期的) ・環境教育の徹底、環境法規の遵守にも取り組む。
12	(株)京屋 朝倉オフィス	企業	朝倉市	環境配慮型マネキンの生産活動の推進	〈環境配慮型マネキンの生産〉 ・再生樹脂製マネキンの生産により、1体当たり3.5kgのCO <sub>2</sub> 削減。廃ペットボトルを再生資源として資源循環利用(1体当たり55本分/500ml)。部品リユースにより廃棄物削減に繋がった。 ・併せて協力事業者の環境意識を向上させた。